

※インターネット「はらまち九条の会」で、「九条はらまち」の全号を見ることができます。



九条はらまち

「はらまち九条の会」ニュース No. 7 1
2008(平成20)年7月30日(水)発行

<1912(明治45)年7月30日は、明治天皇死去の日。もう96年も前のことです。>

天皇重態の知らせに、二重橋前は詰めかけた人々で埋まっていたが、この日午前零時43分、死去。宝算60歳。(天皇の年齢は「宝算(ほうさん)」、写真は「御真影(ごしんえい)」、声は「玉音(ぎょくおん)」と言うそうです) 明治天皇の死は大きな波紋をよび、葬儀がおこなわれた9月13日、陸軍大将乃木希典(のぎまれすけ)は夫人とともに自宅で天皇の写真を前に自殺。「日本最後の殉死」といわれ、小説家志賀直哉はその日の日記に乃木について「馬鹿な奴だ」と書き、さらに夏目漱石は小説『こころ』の中で乃木の死の意味を深く考えさせています。

皆さんのお力で「看板」完成しました!

今年の終戦記念日を期して完成した看板 横4.5メートル、幅90センチのカラーの美しい看板です
原町区錦町の県道・ココスさんの向かい側に▼ 8月10日午後、第3回学習会の前の「看板を見る会」で

○「はらまち九条の会」は、昨年の終戦記念日には、昭和四十六年旧原町市発行の『憲法』(写真)を三千部複製印刷し、会員や市民、また新成人にも配布しました。今年には会員・市民の皆様のカンパでこの看板を建設しました。

カンパ、ありがとうございます
八月十二日付「福島民報」より



この『憲法』小冊子、活用されていますか。昨年の福島市の講演会の時、井上ひさしさんにもこの『憲法』を差し上げましたが、いつも持ち歩いて全国各地の講演会などで紹介しているそうです。嬉しいことです。

県道沿いに設置した看板



市民のカンパで県道沿いに看板
はらまち九条の会
南相馬市の「はらまち九条の会」(平田慶肇会長)は十日、憲法第九条の護持を訴える看板を原町区錦町の県

道沿いに設置した。建設費には市民のカンパを充てた。
六十三回目の終戦記念日に合わせて、準備を進めてきた。完成した看板は横四・五メートル、縦〇・九メートル。「世界は憲法9条をえらび始めた。あなたは9条を変えて戦争に行きますか?」という文言を入れた。
山崎健一事務局長ら会員が、看板の仕上がりを確認した。この後、区内の野馬追通り銘醸館で学習会を開き、「世界は憲法9条をえらび始めた」の意味について理解を深めた。

◆看板は予算の関係で、初めの計画の6枚から4.5枚へとちょっと小さくなり「大看板」とは言えなくなりましたが、美しいカラーで鉄骨作り。交通量の多い錦町の県道、ココスさんの向かい側に。ぜひご覧ください。
◆カンパは、8月22日現在177名から約22万円が集まりました。建設費は24万円で、もうしばらくの間、カンパを続けますのでご協力ください。

◆市役所へ申請し、許可書もいただいています。
◆看板の文言「世界は憲法9条をえらび始めた」は、「憲法9条は日本だけのものではなく、今や世界中から注目され、国際法や各国の憲法のお手本になっています」というような意味です。文言の意味については、8月10日の学習会で説明させていただきました。(「九条はらまち」No.74参照)

他九条の会行事案内

主催：「福島県立高教組」「相双教職員九条の会」 後援「はらまち九条の会」「相馬市九条の会」

講演会「イラク派兵違憲・名古屋高裁判決の意義」

- ・講師 川口 創弁護士（自衛隊イラク派兵差し止め訴訟弁護団事務局長） <入場無料>
 - ・原町会場：8月30日（土）午後2時～4時 ・南相馬市原町区：ホテル・ラフィーナ
 - ・相馬会場：8月30日（土）午後7時～9時 ・相馬市：市総合福祉センター（はまなす館）
- いつのまにか、自衛隊が海外にすることが常態化しつつあることに危険を感じ、原告3,000人、弁護団100人で取り組み、ようやく勝ち取った違憲判決について、歴史的な講演会です。

○福島県九条の会・秋の学習講演会

「構造改革と改憲のゆくえ 福田内閣の下での新しい動向」

- ・講師：渡邊 治氏
（一橋大学教授・全国九条の会事務局）
- ・9月20日（土）1時半～4時
- ・福島市上浜町「県教育会館」
- ・DVD『アラブ人から見た自衛隊イラク派兵』
- ・入場資料代：500円

○相馬市九条の会主催○

「相馬・平和のための戦争展」

- ・8月29・30日（金・土）
- ・会場：相馬市はまなす館
- ・原爆写真展、日中戦争写真展、福島市に投下された模擬原爆、相馬市戦没者地図など
- さらに、「九条はらまち」№68で紹介した相馬中学校の戦没画学生・富田重昌さんの絵「裸婦像」も展示を予定しています。

ペシャワールの会 現地代表中村 哲講演会

いわき市九条の会連絡会主催

- ・DVD「アフガンにおけるペシャワール会の活動」上映
- ・講演【アフガンに命の水を求めて】
- ・9月28日（日）13:30～
- ・いわき市・いわき文化センター
- ・入場券：前売り一般1,000円・当日1,200円
- 「はらまち九条の会」事務局（22-8631）でも販売中！



○中村哲さんは、1946年福岡県生まれ。医師として、84年パキスタンのペシャワールの病院に赴任。以来20年間以上、アフガン難民の診療や、医療と灌漑などの農業復興支援活動を続け、その功績で内外から数々の受賞があります。

<中村 哲氏のことば>

- 「アフガニスタンでは、「憲法9条」に実際に守られてきた」「国際貢献はいろいろなやり方があり、本来武力とは何の関係もない」（岩波ブックレット『憲法を変えて戦争へ行こうという世の中にしないため』より）
- 「戦争協力が国際貢献とは、言語道断である」
- 「『国際化』の致命的な欠陥は、下から上を見る視点の欠落である」
- 「必要なのはお喋りでなく、実弾である。現地の我々は、飲料水確保に全精力をつぎ込む。水は命である」
- 「誰もがそこに行かぬから、我々が行く。誰もしないから、我々がする」
- 「私たちは丸腰だから現地の人に伝わる。平和とは武器によって作り出すものではなく水と緑によって人々の生活を保障すること」

●「原町でも中村さんと呼ばないかなあ」という声もあり、早速問い合わせしてみました。勿論アフガンと日本を往復している多忙な方で、時間的に少なくとも1年か半年前に企画しないと無理のようです。経済的には、最低200名の入場者があれば充分講演会が開催できる計算ですが。

しんち九条の会2周年記念

平和コンサート

- ・日時：9月20日（土）19時開演
- ・会場：新地町農村環境改善センター
- ・お話：森久一さん（前・山元町町長）
- ・癒しのクラシックコンサート：
4女性グループ「フェリーチェ」

白河市・NPO法人アウシュビッツ平和博物館主催

混声組曲「悪魔の飽食」全国縦断コンサート

- ・11月16日（日）14:00～ ・会場：白河市民会館
- 第1部：県合唱連盟理事長菅野正美さん指揮「唱歌の四季」
- 第2部：森村誠一さん作曲家池辺晋一郎さんのトーク
- 第3部：池辺晋一郎指揮 混声合唱「悪魔の飽食」
- ・同時企画展「731部隊展」 ・入場前売券3,000円